

はじめまして



令和5年6月生まれのおともだち

令和5年8月生まれのお子さんを募集します

- 6月3日(月)～28日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、7月1日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



川崎 心陽ちゃん(持田)
令和5年6月13日生まれ
父・豊さん 母・みゆきさん
「いつもこの笑顔に癒されています」



高橋 迅ちゃん(門井町)
令和5年6月1日生まれ
父・一輝さん 母・智子さん
「何にでも挑んで成長してね」



柿沼 凜心ちゃん(持田)
令和5年6月29日生まれ
父・亮さん 母・久美子さん
「ニコニコ笑顔で元氣いっぱい育ててね♡」



棚澤 奏輝ちゃん(小見)
令和5年6月16日生まれ
父・良太さん 母・梢さん
「笑顔抜群わが家のスーパースター」



春田 蓮士ちゃん(若小玉)
令和5年6月28日生まれ
父・成生さん 母・彩果さん
「たくさん思い出つくっていいこうね♡」



三澤 希虹ちゃん(香里山町)
令和5年6月30日生まれ
父・勇希さん 母・佑奈さん
「希虹がいるから毎日幸せだよ。ありがとう♡」

市長コラム

— 新しい行田へ —

第9回「『外国人のためのサポート窓口』をつくったのはなぜ？」



行田市長 行田邦子

3月1日、「外国人のためのサポート窓口」を行田市役所に設置しました。NHKのニュースにもなったため、市内外から予想以上の反響があり、メディアの影響をあらためて実感しています。行田市に住む外国人は2,242人(5月1日時点)、とりわけ外国人住民が多いわけではなく、全国平均並みといえます。

では、なぜサポート窓口をつくったのか。きっかけは自治会長さんたちとの意見交換会でのことでした。さまざまご意見をいただく中、思いの外多かったのが外国人住民に関することで、ごみ出しトラブルやコミュニケーションの取り方など、地域のまとめ役である自治会長さんたちが戸惑っている様子がひしひしと伝わってきたのです。



そこで、外国人の皆さんから、日々の生活での困りごとや疑問に思うことなどを直接聞いてみよう、ということになりました。市長と外国人住民との意見交換会は初めての試みでしたが、たくさんのヒントを得ることができました。

「外国人のためのサポート窓口をつくることにしました！」しばらくして、担当部長から告げられました。実は、市役所には4カ国語が使える職員がいて、彼女が外国人住民のサポートをしているのですが、これを正式な窓口として位置付けようというわけです。サポート窓口では、行政手続きだけでなく、生活相談や情報提供なども行うことにしています。市役所が外国人住民に不足している地域社会の情報を提供することによって、自治会長さんたちの課題解決にもつながると考えるからです。

外国人との共生社会は、私が国会議員時代から関心を持ち続けていたテーマで、実は専門学校で留学生に社会科を教えた経験もあります。今後、行田市においても外国人住民が増えることが十分予測されます。外国人との共生社会に、先手先手で取り組む必要があると考えています。

今月の表紙

5月22日から市公式LINEをリニューアルしました。各種申請や届け出、検診の予約などの行政手続きがLINEトーク上で行えるようになるなど、さらに便利に使いやすくなりましたので、ぜひご活用ください。



現在の友だち登録数31,300人!

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>環境にやさしい
植物油インキ